

公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2014年5月25日（日）13:30 - 16:00

場 所：八重洲ホール 512号室

出席理事：櫻井、奥村、山田、本原、熊谷、松尾、茂山、青木、山岡、宮田、石丸、滝沢、
（以上12名）

出席監事：郷田（以上1名）

欠席理事：中村、林田（以上2名）

欠席監事：尾中（以上1名）

また、西野事務長、黒岩事務員が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席理事が12名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井隆

署名人：櫻井隆、奥村幸子、山田亨、郷田直輝

I-2 前回議事録

資料2に基づき、前回（2014年3月19日）の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 移籍・退会報告（資料3、本原）

2014年3月13日より2014年5月19日までの間の移籍・退会者数が報告された。

正会員入会35名、準会員入会11名、準会員から正会員への移籍会員数は1名、

正会員から準会員への移籍は12名、正会員退会66名、準会員退会66名。会費未

納による会員資格喪失者は正会員15名、準会員18名であった。

II-2 監査報告（資料4、郷田）

2014年4月23日に2013年度監査を三鷹で行った。郷田、尾中、松尾、熊谷、本

原、大場事務員、三原事務員、西野事務長、亀井会計士が出席した。2013年度事

業報告書および2013年度決算報告書について、関係書類とともにその内容を監査

した結果、法令及び定款に照らして正当であることが認められた。

II-3 事業担当理事の近況

1. 年会（宮田）

春の年会が無事終了した。参加者総数1073名、871講演であった。秋の年会の準備を進めている。企画セッションは3件（Solar-C、大学間連携、星間水素の相転移）承認と少し多め。2014年6月10日～17日が講演申込期間。2014

年7月4日にプログラム編成会議を行う。

2. 月報（青木）

特集が2件あり、5号でスーパーフレア、6号でヘリオグラフ。7号で再びスーパーフレア、8号でヘリオグラフ。原稿の入りでこのようになったが、原稿を貯めるよりは良いだろう。月報だよりの人事公募の結果に誤植があった。校正の回数が少ないのが問題で、改善を検討している。体裁を含めて感想、レスポンスがほしい。

3. 庶務（本原）

中村理事が急病のため本原理事が報告を行った。次期理事会期間中の年会開催地候補地が確定しつつある。また、委員会の任期は理事会の交代と合わせることを確認した。

4. 会計（熊谷）

決算が完了した。

5. 天文教育（山岡）

地学オリンピックの紹介が春の年会中にあったが、これから組織づくりを進める。大学教育質保証ワーキンググループを立ち上げ、秋の年会の天文教育フォーラムで取り上げる予定。高校以下の指導要領の改定についても取り上げる。物理についてどのように進めようとしているかを物理学会に問い合わせ中。春の年会の公開講演会は盛況であった（550名）。講師派遣プログラムは2件依頼あり。彗星や太陽系内天体についての講演依頼が多いため、人が足りない状況。依頼元がどの程度専門性を求めているのかを確認する必要あり。また、講師派遣申し込みシステムの整備をネットワーク委員会と進めたい。春の年会のジュニアセッション（2日間開催）は82件と過去最大の講演数、500名近い参加者で盛況であった。秋の年会もポスターのみのジュニアセッションを行う。男女参画委員会による女子中学・高校生のキャリアパスに関する説明会の準備も進めている。宇宙を学べる大学紹介 in 九州が6/29に開催される。受験生のみならず、一般にアピールする場になっており、昨年は参加者数約200名（大阪では40~50名程度であった）。

6. PASJ（茂山）

66号2巻が刊行された。OUPへの移行が進みつつあるあるが、ひと月遅れの発行となった。特集号については250部の買い取りが課されるが、紙版を刷らずに負担軽減ができないかをOUPに問い合わせ中。来年度の掲載規模を7回刊行、1900ページと決定した。2014年に掲載しきれなかった論文も掲載する。電子版のアクセス権の管理責任は、OUPとの契約が終了しても学会が持つとする契約書の内容を確認した。

II-4 事務所報告

事務職員の正木氏が3月で退職された。

II-5 今後の年会の進捗状況報告

1. 山形大（滝沢）

日程は2014年9月11日～13日、記者発表9月10日、懇親会9月12日、公開講演会9月14日となった。駅から年会会場までは徒歩25分程度。口頭セッション会場は基盤教育1号館、2号館、ポスターセッションは体育館を用いる。無線ネットワークはネットワーク室周辺のみで使えるようにする予定。展示ブースは体育館に設置する。山形コンベンションビューローによる観光案内デスクが設置される（ボランティア）。また、同ビューローから懇親会会場へのバス代補助が得られた。9月13日は土曜日であるが、生協食堂・売店が臨時営業する。懇親会会場はホテルキャッスル山形、会場より徒歩20分。公開講演会は山形テルサで開催され、テーマは「星の一生」。講師は吉田（東大）、小山（京大）、板垣（アマチュア天文家）で、各種団体の後援も得られ、科研費も採択された。

2. 大阪大（林田よりメールによる報告）

順調に準備が進んでいる。公開講演会の講師は谷口（愛媛大学）と鹿児島大学のグループに依頼している。

II-6 杉並科学館（櫻井）

存続の要望書を杉並区に出したが、面会した区議によれば、ほぼ既定路線となっており変更は難しいだろうとの話であった。

II-7 キャリア支援（櫻井）

年会中に学生から、日本天文学会としてキャリア支援をしないのか問い合わせがあった。物理学会は行っている。単発で天文教育フォーラムはあったが、継続的活動はない。大学単位でやっている所はあるが、全体に見えるようになっていないので、何らかの活動が必要であるとの意見が出された。継続して検討する。

III. 議題

III-1 2014年度事業報告書の承認（本原、資料5）

事業報告書の説明の後、承認された。

III-2 2013年度決算書の承認（熊谷、資料6）

決算書の説明がなされた。年会登録料の収入が大きいが、これは非会員発表が多いため、このままでは年会が収益事業になりかねない。非会員が入会するような誘導施策が必要だろう。研究奨励賞事業についてはあと5年程度で予算が尽き

るので、何らかの方策を考える必要がある。決算は最終的に 976 万円の黒字となった。昨年度は年会の会場費がすべて免除になっているが今年度は発生すること、今年度から PASJ の科研費（700 万円程度）がなくなることと、さらには OUP 委託による PASJ 発行経費がどのように変わるかが不透明であるため、この黒字額が大きすぎるわけではない。また、ASJ の海外機関の期間購読料が大幅値上げになってしまったため、購読機関が大幅に減っている。消費税値上げの影響が今後出てくるだろう。以上の議論の結果、承認された。

III-3 新規加入者の承認（本原、資料 3）

新規入会者リストの確認の後、承認された。

III-4 OUP の DeepDyve サービスの導入（茂山、資料 7）

Web 上での論文レンタルサービスであり、研究者以外が限られた時間内に論文のアクセスが可能になるサービス(DeepDyve)の導入が OUP から提案された。導入することが承認された。

III-5 OPU の AuthorAID への賛同（茂山、資料 7）

途上国などの研究者の論文出版をサポートする活動(AuthorAID)への賛同と、白紙ページが発生した場合に周知する広告を掲載することが提案され、承認された。

III-6 COPE へのメンバー登録（茂山、資料 7）

Committee on Publication Ethics への PASJ の加盟が提案され、承認された。

III-7 PASJ 投稿の手引の改訂（茂山、資料 7）

1990 年に策定されたもので、OUP 移行に際してはスタイルファイルが変わるので改訂する提案があり、承認された。初めて投稿する若手向けの手順書である。

III-8 「シリーズ現代の天文学」英語版出版事業の承認（茂山、資料 8）

2014 年 3 月 21 日にワーキンググループ（櫻井、茂山、松尾、岡村）を結成し、議論を開始した。具体的には、まず日本語版の改定を行い、それをベースに英語化を進める。日本語版は「第 2 版」となる。英語化では、翻訳者への謝金と英文校閲の費用が発生する。最初に 1, 11, 12 巻から作業を開始することを考えている。最終的にかかる経費は年間 170 万円、5 年間で 850 万円を想定している。事業を進めることが承認された。

III-9 全国同時七夕講演会実施委員会設置について（山田、配布資料）

全国同時七夕講演会実施委員会を「日本天文学会委員会等に関する細則」第 4 条に基づき設置することが内規案（「全国同時七夕講演会実施委員会に関する内規」）とともに提案された。委員長は山田亨、委員は山岡均、前原裕之、田中幹人である。具体的な活動内容はサーバの設置、問い合わせ対応などである。以上の説明の後、承認された。

[資料リスト]

- 資料 1 理事会出欠表
- 資料 2 前回理事会 (2014/3/19) 議事録
- 資料 3 新規入退会・移籍者などの報告
- 資料 4 2014 年度監査報告
- 資料 5 2014 年度事業報告書 (案)
- 資料 6 2014 年度決算報告書 (案)
- 資料 7 PASJ 投稿の手引の改訂について
- 資料 8 「シリーズ現代の天文学」英語版出版について

2014 年 5 月 25 日

会 長：櫻井 隆 印

副会長：奥村 幸子 印

副会長：山田 亨 印

監 事：郷田 直輝 印